

課題名：バーチャルリアリティ(VR)を用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器に関する研究開発

代表機関：InnoJin株式会社

全研究開発期間：2024/6/21～2025/3/31

背景・目的：小児弱視の背景

- 小児の1-5% (21万人)に発症
- 恒久的な視力障害
- 完全矯正眼鏡+健眼遮閉(アイパッチ)による治療を行うが、治療アドヒアランスの低下や15-50%の患児に視機能低下が残存するなど問題点の存在

取り組み・成果：VRを用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器と小児用ヘッドマウントディスプレイの開発

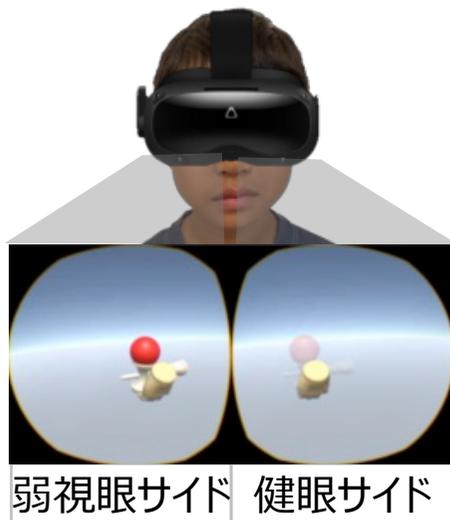
- VRを用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器(クラスⅡ)の開発と効果に関わる特定臨床研究の実施
- 軽量化ならびに小型化された小児用ヘッドマウントディスプレイの開発

今後：VRを用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器の医療機器申請ならびに保険収載

- VRを用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器の効果に関わる特定臨床研究と検証的医師主導治験の実施
- 小児用ヘッドマウントディスプレイの治験機の開発

概要イメージ

VRを用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器(クラスⅡ)



小児用ヘッドマウントディスプレイの試作機の外形・サイズ
(左VIVE, HTC. 右試作機)



小児用ヘッドマウントディスプレイの試作機 2025年5月時点